

平成12年度連携排砂計画について

平成12年度連携排砂計画

項 目	排 砂		通 砂	
	宇奈月ダム	出し平ダム	宇奈月ダム	出し平ダム
(1) 時期	・ 7月10日～8月31日でダム流入量が、出し平ダムで300m ³ /s、宇奈月ダムで400m ³ /sのいずれかを上回る最初の出洪水時に実施。		・ 7月10日～8月31日で排砂後のダム流入量が、出し平ダムで480m ³ /s、宇奈月ダムで650m ³ /sのいずれかを上回る出洪水時にその都度実施。	
(2) 排砂量	・ 目標排砂量 0 m ³	・ 目標排砂量約 20万 m ³	・ 自然の出洪水流を排砂ゲートを用いてその都度流下させる。	
(3) 方法	・ 自然流下方式		・ 同左	
(4) 時間	・ 自然流下時間 1 2 時間	・ 宇奈月ダム自然流下内に完了 (自然流下時間最低 1 2 時間)	・ 自然流下時間 1 2 時間	・ 宇奈月ダム自然流下内に完了
(5) 排砂・通砂前の措置	・ 出洪水の調節の後期(ダム水位が高い)段階から水位低下操作運用とする。	・ 出洪水の初期(ダム水位が高い)段階から排砂ゲートを開ける運用とする。	・ 同左	
(6) 排砂・通砂後の措置	・ 排砂後 2 4 時間はダム流入量をダム及び宇奈月発電所から放流する。	・ 排砂後 2 4 時間は原則として発電取水を停止し、ダム流入量をそのまま放流する。	・ 通砂後 1 2 時間は、ダム流入量をダム及び下流発電所から放流する。	

【特記事項】

1. 上記の排砂条件を満足する出洪水の発生がない場合を想定して、土砂変質の進行を抑制するため、その方法について協議していくこととする。
2. 大規模な土砂の流入等、不測の事態が発生した場合、また発生が予想される場合については、その対応について適宜協議していくこととする。

平成12年度 排砂・通砂時の実施連絡体制

